

Family to Family<メキシコ国境でボランティア活動>

Pastor Rob Davis interviewed by Sam Kerns



私の名前はロブ・デイビスです。ここツーサン市のキリスト・コミュニティ教会牧師です。中・高生が中心のヤング・グループのリーダーをしています。この度、メキシコ国境に住んでいる家族に新しく家を作ってプレゼントする活動に参加させていただきました。この働きはすでに10年前からアメリカ各地の教会が連携して<House To House>というプロジェクトで進められていました。このたび私たちも何かお役に立てばと考え、国境を越え、言語の壁を越えて、家族から家族への家のプレゼントなので、<Family to Family>というスローガンを掲げて教会員から有志者を募って奉仕することになったのです。

こうした教会家族が参加する奉仕プロジェクトは初めてでしたが、住宅建設というハードな仕事であるにもかかわらず、一歳の赤ちゃんから七十歳のお年寄りまで、総勢252人という大人数の参加者があり、正直なところ教会員の関心の高さに驚きました。

建設現場では、みんなが同じペースで家を作るわけではなく、それぞれが自分にあった仕事を選択することができました。土地ならしから、土台のためにコンクリートを練って流しこんだり、柱や壁を立てたり、窓枠をはめ込んだり、屋根を葺くなど、仕事の段取りに合わせて自分にあった作業をしながら、目標として10軒の新築を目指しました。



最近、家の壁と言っても、壁の形になった発泡スチロールを使います。その発泡スチロールの仮の壁は内側が空洞で鉄の支柱が入っています。そこへセメントを流し込んで固めて、その型を取り外すと壁が出来る仕組みです。軽い素材は子供たちでも扱えます。もっとも、屋根に登る危険な仕事は大人や若者、配線などは電気に詳しい人が引き受けました。



別れの日、両方の家族が揃って夕食会が開かれました。各テーブルの家族たちが交互に立ってスペイン語で挨拶しました。「こんな所まで来てくれてありがとう」「家を建ててもらったので、これから家族は同じ屋根の下で、親子仲睦まじく時間を過ごせます」と感謝と喜びの言葉が後を絶ちませんでした。

私たちの教会でボランティアを募った時は、出発の日が近づくにつれて希望者がどんどん増え、予想外の250人という大人数に膨らんでしまいました。驚いたと同時に、教会員の人たちが恵まれない人たちのために自分たちも何かしたいという隣人愛に目覚めたことが素晴らしいことだったと思います。家族をあげてのボランティア活動によって、教会員同士の間でも愛の交わりが深まっていったに違いないと信じています。

次の目標ですか？ 勿論、来年もまたこのボランティア活動に迷わず参加することです！



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送

淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送

4月06日	メキシコ国境でボランティア：Family to Family	4月07日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩篇の旅路
4月13日	いよこのサボテン日記（サソリとサボテンの巻）	4月14日	リスナーからの手紙（お便り交換の時間）
4月20日	受難ファンタジー：三本の木 アンデス日曜学校生徒	4月21日	イースター（復活節）メッセージ
4月27日	ハローDXers 今昔物語 Roger Stubbe	4月28日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩篇の旅路

放送後の番組は、ホームページ (<http://reachbeyond.jp>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただきます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz （再放送） 午後8時～8時30分 15565kHz
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

REACH
BEYOND

